



はなのき

神坂小学校だより No.6 2025.8.28



ここぞという場面で全力発揮！！

校長 伊藤 博章

今年の夏も猛暑日が続きました。暑い暑い夏休みでしたが、家庭での子供たちの様子はいかがだったでしょうか。夏休み明けの再スタートにあたり、次の詩を紹介します。

人間のうた

深澤義旻

「うそをつくな」と、おれは言わない。
大事なときに、うそをつかなければいいのだから。
大事なときとは、自分を不幸にするかどうかというときだ。

「くそまじめにやれ」と、おれは言わない。
くそまじめにやって損をすることが多いからだ。
だけど、やらなくてはならないときは、
どんなに辛くても、苦しくても、やり抜かなければならない。
それは、自分をだめにするかどうかというときだ。

「誰とでも仲良くしろ」と、おれは言わない。
本当の仲間と、仲良くできればいいのだから。
本当の仲間とは、手を握り合い肩を叩き合いながら、自慢話をしあえる相手のことだ。

「まちがいや失敗をするな」と、おれは言わない。
大事なことを間違えなければいいのだから。
大事なことで失敗しなければいいのだから。
間違いや失敗を恐れてはならない。
おれが言う大事なことは、二度と立ち上がれなくなるかどうかということだ。
意思と体力で支えきれなくなるかどうかというときだ。

他の間違いや失敗は、星の数ほどあったにしても、少しも怖がることはない。
間違いや失敗から正しく学んでいく限り、自分を高めていけるからだ。
間違いや失敗を一つもしない人間は、結局、何もしなかったやつなのだ。
口先だけで、何もできなかったやつなのだ。

自分を大切にすることをためらうな。
自分を大切にできないでいて、どうして人を大切にできようか。
自分を大切にすることが、同時に人を大切にすることになる生き方。
それは、人間にだけできるのだ。

雨が降っても、曇っていても、見ろ、雲の上には、太陽がある！

夏休み明けから冬休みまでの第3、第4ステージはたくさんの行事があります。昨年度は各行事や日常生活の中で、全力で取り組める自分のカッコよさを自覚し、全力で取り組める仲間の美しさや素晴らしさを認められるようになってほしいという願いから、「**全力は美なり**」という言葉を紹介しました。今年度はこの詩にあるように、メリハリを大切にしながら、「**ここぞという場面で失敗を恐れなくて全力を発揮する姿**」を期待したいです。保護者や地域の皆様には、そのように子供たちが全力でチャレンジした姿が見られた際には、認め言葉をかけていただくようお願いしたいです。それが神坂小の子供たちの、今後のエネルギーとなります。